

Press Release

Gunma Prefecture





令和5年7月14日 国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所 群馬県建築技術も24名

(公財) 群馬県建設技術センター

防災・減災シンポジウム 関東大震災 100 年を開催します

~首都圏の大規模災害時における群馬県の役割~

今年は、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年であるため、 関東地方整備局では、関係機関と連携し、各地域でリレーシンポジウム等の取り組みを実施 しています。

国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所、群馬県及び公益財団法人群馬県建設技術センターは、「首都圏の大規模災害時における群馬県の役割」と題し、群馬県として担うべき役割と、取り組み等について行政関係者や医療関係者、県民と考えるきっかけとなるシンポジウムを共催で開催します。

1. 日 時: 令和5年8月17日(木)13時30分~16時00分(13:00開場)

2. 会 場: 群馬会館ホール (群馬県前橋市大手町2丁目1-1)

3. 内容: 基調講演、パネルディスカッション

4. 参加方法: 事前申込み制(定員350名)※参加費は無料です。

5. その他:後日、シンポジウムの様子を撮影した動画をホームページにて公開します。 報道機関の方で会場での取材を希望される方は、8月15日(火)までに 別紙申込書に必要事項を記載の上、メールにて事前登録をお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局高崎河川国道事務所

電話:027-345-6000 (代表) メールアドレス:ktr-tk-info@mlit.go.jp

 (参考)関東地方整備局の関東大震災 100 年の取り組み「連携・実践・わがこと化」について

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、今年は関東大震災 100 年にあたります。

首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、自らも道路、港湾、河川等のインフラを管 理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、関係機関との連携を強化し、 より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、それぞれが主体的に対応することの必要 性・重要性を広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組 を実施していきます。

- 1. リレーシンポジウム ~関係機関が連携し、各地域で開催~
 - 1月16日(月) 東京都 (実施済)
 - 6月26日(月) 千葉県 (実施済)
 - 7月10日(月) 埼玉県 (実施済)
 - 7月21日(金) 山梨県
 - 7月27日(木) 栃木県、神奈川県
 - 7月28日(金) 茨城県
 - 8月17日(木) 群馬県

(パネル展)

- 7月26日(水)~7月27日(木) 長野県(会場1)
- 7月29日(土)~7月30日(日) 長野県(会場2)
- 7月31日(月)~8月27日(日) 長野県(会場 3)
- 8月28日(月)~9月1日(木) 長野県(会場4)
- 2. 関東大震災100年シンポジウム~フィナーレとして~
 - 8月28日(月) 主催:国土交通省
 - 8月26日(土)~8月28日(月) 関東大震災特別企画展
- 3. 首都直下地震対応訓練 ~実践的な訓練を実施~
 - 8月 道路啓開訓練、緊急支援物資水上輸送訓練等
- 4.関東大震災ゆかりの地を巡るツアー ~切迫する首都直下地震をわがことととらえる~ 7月22日(土)、23日(日) 国土交通省、国土地理院

「関東大震災 100 年の取組」の詳細はこちらから https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index0000005.html





Twitter 情報

高崎河川国道事務所ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/ https://twitter.com/mlit_takasaki







防災・減災シンポジウム 関東大震災100年 首都圏の大規模災害時における群馬県の役割~

令和5年8月17日日

13:30~16:00

/群馬会館ホール 前橋市大手町2-1-1

令和5年は、首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年となります。 昨今、首都直下地震の発生が切迫する中、関東の地方自治体は、医療支援や広域避 難の受け入れ、復旧・復興支援など様々な観点が求められます。

改めて群馬県として担うべき役割と、今後の取組等について、行政関係者や医療関 係者、県民と考えるきっかけとなるシンポジウムを開催します。

7員350夕

基調講演

「首都直下地震時のバックアップとしての 群馬県の災害医療のあり方 |

日本赤十字社 災害救護研修所 災害救護部門 部門長 前橋赤十字病院長 中野 実氏



群馬大学医学部卒、医学博士。 専門は救急医療、災害医療。 統括DMAT隊員、群馬県災害医療コーディネーター。渋川市出身。

パネルディスカッション

「首都圏大規模災害時における群馬県の役割

- 安全・安心な社会の実現に向けて」

パネリスト/ 片田 敏孝氏(東京大学大学院情報学環特任教授)

中野 実 氏(前橋赤十字病院長)

猛氏(東京都江戸川区長)

藤巻 浩之氏(国土交通省関東地方整備局長)

コーディネーター/眞庭 宣幸 氏(群馬県 県土整備部長)

【パネル展】

群馬会館1階広間において、防災・減災に関連したパネルの展示を行います。

込み方法

本チラシ裏面に参加者全員の ①氏名 ②職業 ③年齢 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を記入の上、FAX.027-254-9904にてお送りく ださい。なお、はがき、メール、スマートフォンで専用フォームからもお申し 込みを受け付けます。

●お申込み受付けされた先着350名様に聴講券を発送します。 定員になり次第締め切り、聴講券が届いた方のみがご入場できます。

※申し込みの際いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営のみ使用いたします。

はがき

はがき、メールの場合も左記①~⑥をご記入の上、お申し込みください。

〒371-8666(住所不要)上毛新聞社営業局 「防災・減災シンポジウム」係

メール sanka@raijin.com

スマートフォンで専用フォームはこちらから

問い合わせ先/上毛新聞社営業局 TEL.027-254-9945防災シンポ係(土・日・祝日を除く午前9時~午後5時)

主催/国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所、群馬県、公益財団法人群馬県建設技術センター、上毛新聞社 後援/群馬県市長会、群馬県町村会、(一社)群馬県建設業協会、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬



FAX.027-254-9904

関東大震災100年 ~首都圏の大規模災害時における群馬県の役割~

防災・減災シンポジウムへの参加を申し込みます。

参加者全員の氏名、職業、年齢、郵便番号、住所、電話番号を記入の上、FAXにてお送りください。 お申し込み先着順350名様に聴講券を発送します。

氏名		職業	年齢	氏名		職業	年齢	
			歳					歳
₹				〒				
	TEL				TEL			
氏名		職業	年齢	氏名		職業	年齢	
			歳					歳
₹				₹			•	
	TEL				TEL			
氏名		職業	年齢	氏名		職業	年齢	
			歳					歳
Ŧ				₸			•	
	TEL				TEL			



はがき、メールでも受け付けます。

はがき

はがきに、参加者全員の ①氏名 ②職業 ③年齢 ④郵 便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を明記し、〒371-8666 (住所不要)上毛新聞社営業局「防災・減災シンポジウム」係へお送りください。

メール

sanka@raijin.com

※申し込みの際いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営のみ使用いたします。

入場には聴講券が必要です。

●雷車・バス

JR両毛線前橋駅下車、バス約6分 新前橋駅下車、バス約7分 中央前橋駅下車、バス約7分

●車

関越自動車道前橋インターチェンジから、国道17号経由、約10分

- ●会場周辺は混雑が予想されますので、時間に余裕をもってご来場ください。
- ●駐車場に限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。 ※駐車場は、県庁構内の県民駐車場をご利用いただけます。

4 / 5

防災・減災シンポジウム 関東大震災 100 年

~首都圏の大規模災害時における群馬県の役割~

取材申込書

宛先:高崎河川国道事務所 計画課 宛

E-mail: ktr-tk-info@mlit.go.jp

標記について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願い致します。

必要事項をご記入のうえ、8月15日(火)17時までにメールにてお申し込みください。

1.	報道機関名	
2.	取材者等	
	(1) ご氏名	
	(2)ご連絡先	TEL:
		Mail:
	(3)取材人数	<u>人</u>
	(4) テレビカメラの	有無有・無
	「有」の場合、	台